

未来共創イニシアティブ(ICF)

設立理念・活動内容のご紹介

MRI 三菱総合研究所

執行役員

中村秀治

未来共創イニシアティブ 事務局長

未来共創本部長

須崎彩斗

未来共創イニシアティブ(ICF)の理念



ICFの設立理念

目指す未来の姿

「100億人・100歳時代に 豊かで持続可能な社会」



「プラチナ社会」

2つのネットワークをひとつに ～ICF～



プラチナ
社会研究会
新産業は、人が輝く暮らしから。

2010.4～



INNOVATION NETWORK

FOR CO-CREATING THE FUTURE

2017.4～



2021.4～

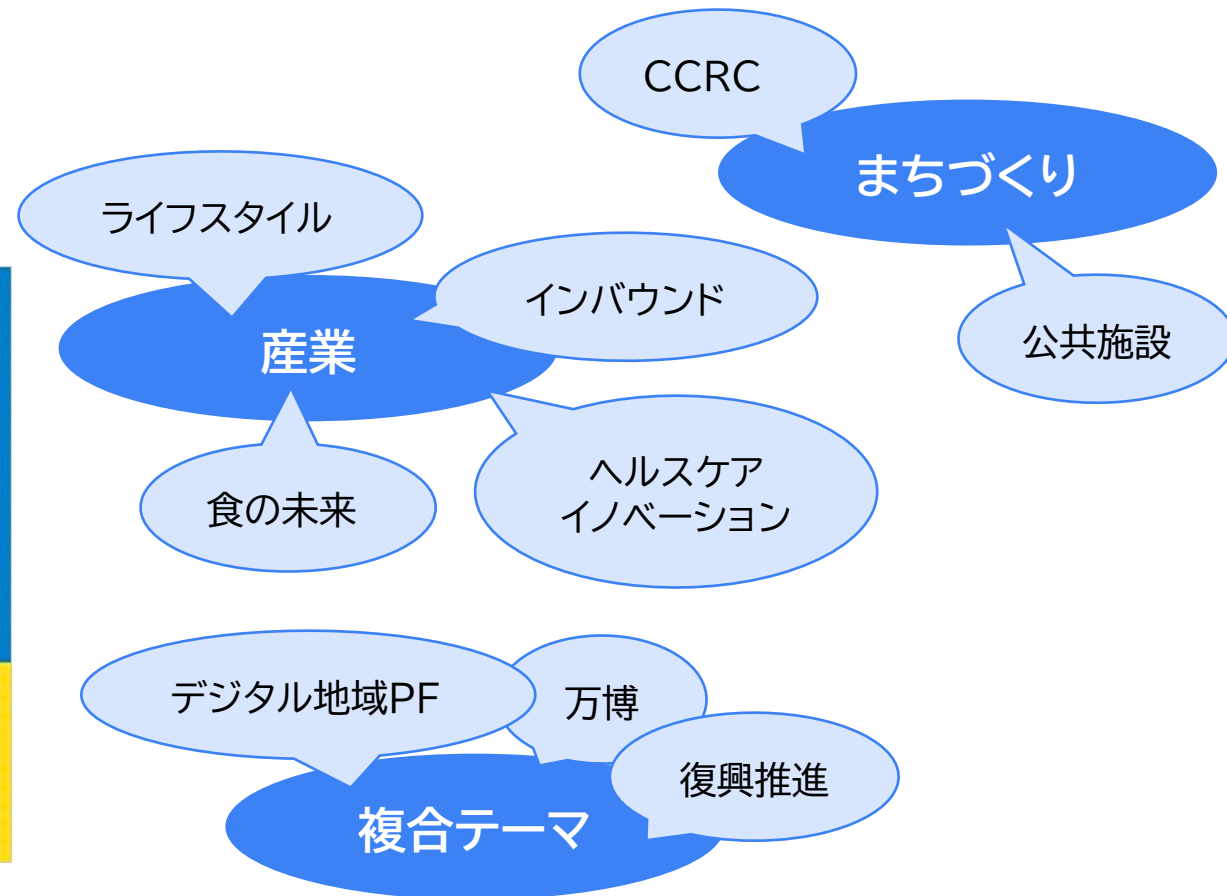
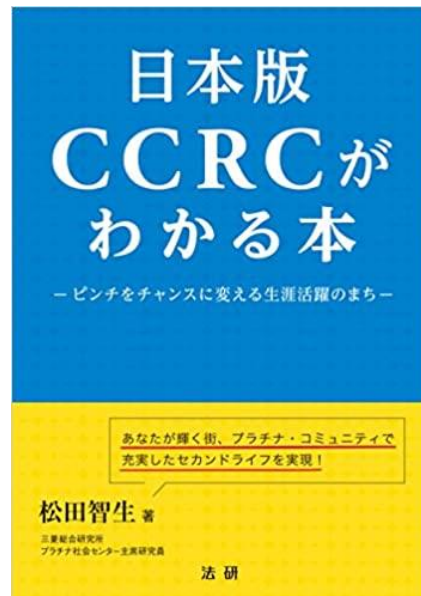


未来共創イニシアティブ

～プラチナ社会を実現～

プラチナ社会研究会

- 超高齢社会、地球環境、需要不足と雇用という難問に挑む
- 具体的なテーマの解決を目指し、関心のある会員が集い活動する
- コンセプト発信や政策提言を目指して活動



未来共創イノベーションネットワーク(INCF)

- イノベーションとビジネスで社会課題を解決することを標榜
- 課題解決に活躍するスタートアップ育成
- 社会課題解決事業の創出

社会課題の定義・整理

- ・ 会員の共通認識としての課題一覧
- ・ 社会課題全般を俯瞰、インパクト評価
- ・ 社会潮流を反映し毎年アップデート

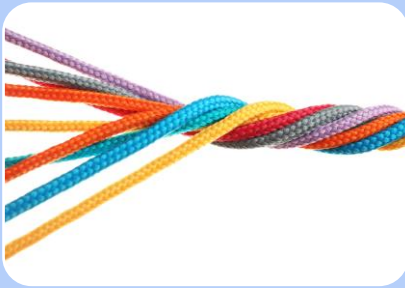
課題解決ビジネス創造支援

- ・ 社会課題の構造的理解の促進
- ・ 課題解決ビジネスモデルの研究
- ・ 具体的なビジネスモデル構築・PoC

スタートアップ エコシステム

- ・ 課題解決の重要プレーヤーに位置付け
- ・ 事業アクセラレーションを支援
- ・ 会員企業とのマッチング

ICF設立のポイント



コレクティブインパクトが大きな社会変革をもたらす

- ・ 中央集中・大型一点投資から、自律分散・協調型の課題解決へ。
- ・ 課題を共通認識し、各ステークホルダーがインパクトを創出することで、結果として大きな社会課題解決へ。



新しいスタートとしてまたとないタイミング

- ・ コロナ禍は、積年の課題に否応なく解決迫る。「やればできる」も。
- ・ 解決のスコープとスピードを高め、自立分散・協調社会の実現へ。



社会変革の実現を促すエコシステムとして機能する

- ・ パートナーとの協働・共創を通じて変革実現・実装に貢献。
- ・ MRIは会員・マルチステークホルダーの総意と努力を成果へ、「触媒&プロデューサー」を目指します。

マルチステークホルダーの参加

自治体	地域の具体的課題に取り組む	149
企業	製品・サービスの開発、販売のインフラ	139
スタートアップ	先進技術に強く経営の機動力が高い	132
大学・研究機関	基礎から応用までの最先端技術に強い	116
官公庁	政策・制度面からの様々なサポート可能	

総計: 536法人参加

(2021.4.1現在)

共創会員の皆様



鹿島建設
株式会社



住友生命保険
相互会社



大和ハウス工業
株式会社



中部電力
株式会社



株式会社
電通国際情報サービス



東京海上ホールディングス
株式会社



TOTO
株式会社



日本電気
株式会社



日本ビジネスシステムズ
株式会社



ビープラッツ
株式会社



第一工業製薬
株式会社



三菱重工業
株式会社



株式会社
三菱UFJ銀行



三菱UFJ信託銀行
株式会社



明治安田生命保険
相互会社

未来共創
プロジェクト起案

スタートアップと
のマッチング支援

BAP応募情報へ
のアクセス

新型コロナウイルス感染症は、格差の拡大やDXの遅れといった認識はされていたものの手付かずであった社会課題をあぶり出した。待望のワクチン接種が開始される中、「新常態」が徐々に見え始めている。

人類は長い歴史の中で感染症に遭遇するたびに、幾多のイノベーションを起こし感染症に打ち勝つとともに、新たな日常・文化を生み出してきた。コロナ前に戻る必要はない。今こそコロナを奇貨として豊かで持続可能な社会の構築を目指す時だ。

有力な手段として、21世紀先端技術の社会実装があげられる。新技術のもたらし得る効用を縦横へと展開し、社会へのインパクトを最大化していきたい。

もちろん、技術を社会に実装することは容易ではない。まずは全てのステークホルダーが目指すべき社会やビジョンを共有することが重要だ。その上で、おのの事業・プロジェクトのベクトルを一致させ、「コレクティブインパクト」の創出へとつなげることであり、受益者となる市民や消費者の受容性も高まる。

当社は、長年にわたり培った統合知を活用し、複雑化した問題を解きほぐし、有効な解決策を組み合わせ・実践することにより、目指すべき社会創出の一翼を担いたい。

代表取締役社長 森崎 孝

1. 社会課題解決の新常態
2. 女性の健康リスクをコレクティブに低減
3. 地域通貨により個人の行動変容を促進
4. 科学的エビデンスに基づく介護現場のPDCA改革
5. 21世紀のムーンショットにチャレンジ



● MRI Monthly Review 4月号 「コレクティブインパクト

—目指すべき社会の創出—」

- ICF新設の理念、意義
- ポストコロナ時代の社会課題解決
- 個別テーマのコレクティブインパクト事例

全文ダウンロード可能です

検索▶「MMR MRI」または

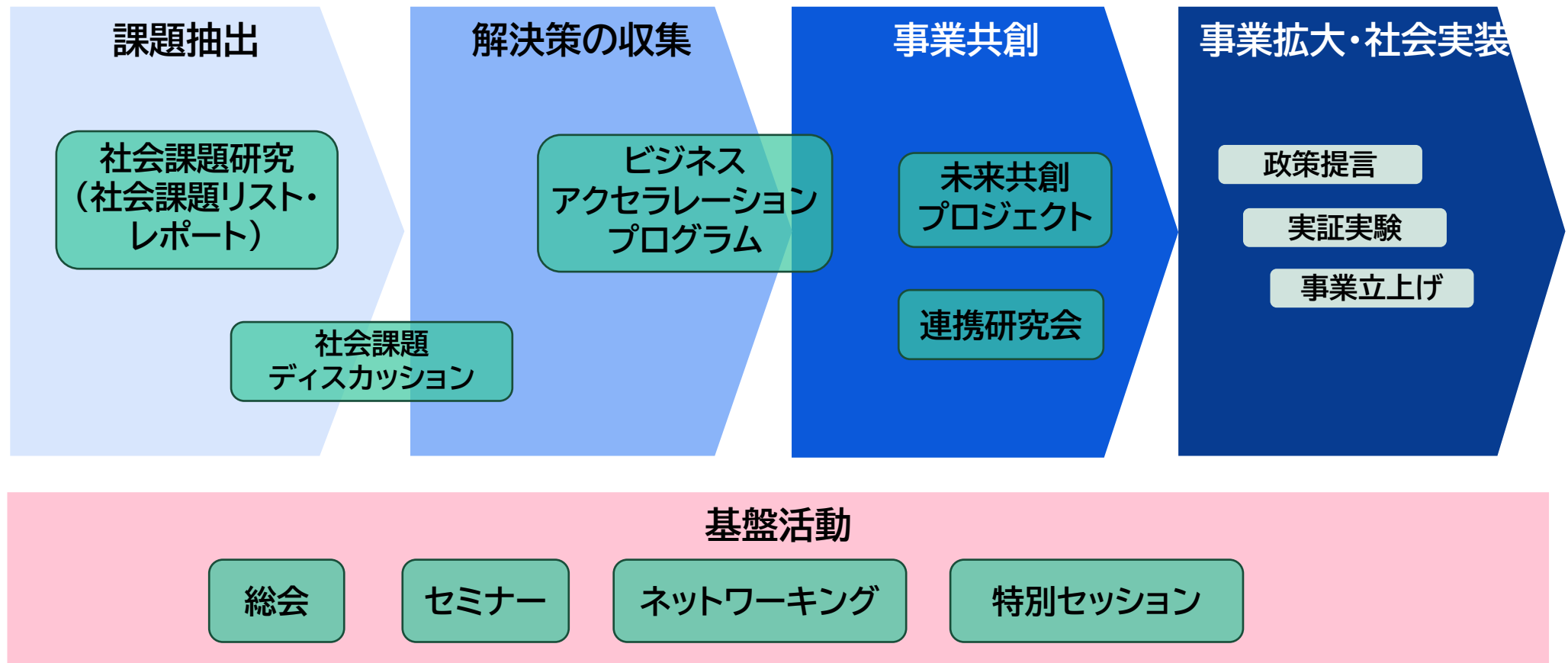
<https://www.mri.co.jp/knowledge/mreview/index.html>

ICFの活動内容



全体メニュー：課題設定から実装までをカバー

- マルチステークホルダー & 社会課題へフォーカス
- 課題設定からビジネス創出まで一貫性重視のプログラム企画・運用



社会課題ディスカッション

● 概要

- 注目テーマを題材にディスカッション
- 課題の理解、構造の深堀、解決糸口の探索

● 運用

- MRI企画だけでなく、会員の皆様からのテーマも募集

● 展開

- 活動成果は取り纏めの上、会員向けに共有
- 社会インパクトの大きさ、会員のご関心により「未来共創プロジェクト」に発展
- ICF会員の皆様に加え、ゲストを招待するイベント「社会課題セミナー」も計画

**INNOVATION NETWORK**
FOR CO-CREATING THE FUTURE

ー社会課題ディスカッションー 第1回「女性の健康と活躍」

INCFでは、社会課題を解決するための提言やビジネス創出に向け、志を等しくする仲間と出会い、課題の構造や解決の糸口についての理解を相互に深めるために「社会課題ディスカッション」を開催します。

第1回は「女性の健康・活躍」をテーマとしており、ウェルネス、育児、キャリアと、幅広いよう密接につながっている分野での課題や解決策深堀を行い、参加者間の連携や課題解決へつなげていきます！

日程	2021年2月19日（金） 14:00～16:00
形式	Zoom（オンライン）
定員	30名

【スケジュール】

14:00-14:05 オープニング、趣旨説明
14:05-15:05
「ライフステージごとの女性の悩みは？」
女性の抱える課題の解決に取組むスタートアップより発表
・乳がん検診：株式会社Lily MedTech 東 志保 氏
・育児：株式会社モシーモ 竹村 由賀子 氏
・ワークライフバランス：株式会社ワークシフト研究所 森家 明味 氏

15:05-15:15 休憩

15:15-16:00
「女性活躍推進に向けて企業ができる環境整備」
・Women focused Well-beingに向けた課題と論点（MRI）
・課題とビジネスの接点、参加企業の取組みと障壁をディスカッション
・ディスカッションの振り返り

【お問い合わせ】 ㈱三菱総合研究所 INCF事務局（incf-inq@mri.co.jp）
担当：鈴木・加藤



未来共創プロジェクト(FCP)

● 概要

- コレクティブインパクトによる**社会実装^(*)**に直結する、具体的な課題解決を検討
^(*)社会課題をビジネスで解決し、市場原理を通じた新ソリューションの浸透
 - 旧プラチナ研「分科会・プロジェクト」と旧INCF「SIG・WG」を統合再編

● 運用

- 共創会員の皆様およびMRIからテーマを提案
- 同一テーマで継続的に検討、課題分析やビジネスモデル／提言を具体化
- 「**課題構造化**」、「**事業アイデア探索**」、「**ビジネスモデル設計**」、「**フレームワーク開発**」、「**政策提言**」の5パターン
- 標準スタイル: 5日間のワークショップ形式(4～6ヶ月)

● 展開

- 活動成果は **Insight Report** として取り纏めの上、公開
- 活動成果に基づく**事業化取組(実証実験、事業立上げ、政策提言)**は個別に対応

連携研究会(MRI主催)

● 概要

- MRI事業部門 主催によるICF会員ネットワークを活用した研究会活動
 - 旧プラチナ社会研究会で活動してきた研究会／セミナーを再編

● 運用

- テーマ選定・企画は、「MRI事業部門起案」
- 運用形態は研究会、セミナー、ワークショップなど

● 展開：今期開催研究会（開催決定分）

- 自治体DX研究会（自治体会員中心に先行）
 - DX対象領域*に基づき自治体とワーキング活動
（*相談DX、手続DX、地域DX、給付DX、行政データ活用）
- 万博みらい研究会（継続案件）
 - 2025大阪・関西万博に向けて、技術実証や統合化のプラットフォーム構築
 - 万博開催期間・万博後のまちづくりにおける技術実装

社会課題研究:「社会課題リスト」発行

ビジネスで解決できそうな社会課題を整理

⇒ **世界のビジネスチャンス**



2017年度版
INCF会員に配布

2018年度版
グローバルな視点(SDGs等)で課題を再整理
一般にも公開開始

2019年度版
各分野の課題に「解決の糸口」を追加

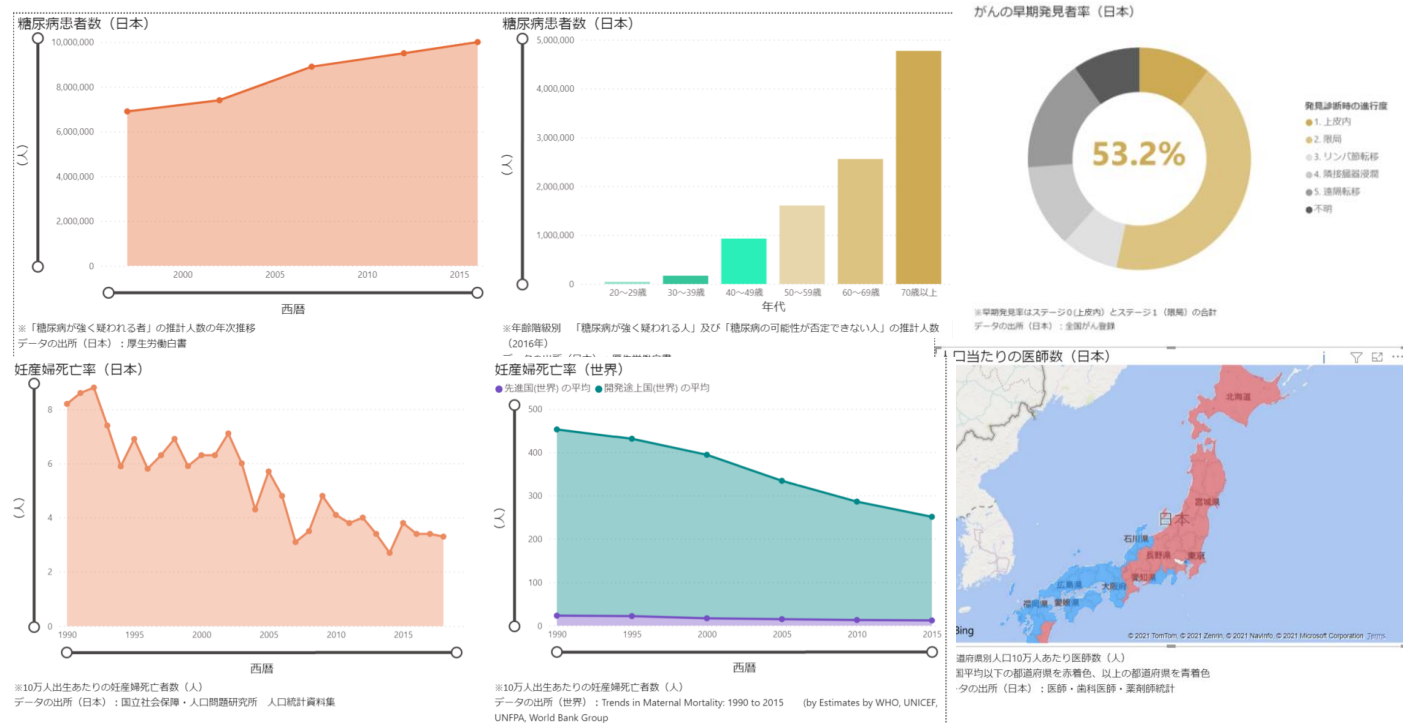
2020年度版 (2020.10~)
COVID-19、未来志向の課題

※ダウンロードはこちらから

<https://www.mri.co.jp/news/press/20200930.html>

「社会課題リスト・レポート」2021年度版

- ICF会員の皆様と意見交換しながら2020年度版をアップデート
- アップデート内容は「社会課題レポート」を年間3回発行
- 全体をとりまとめた「社会課題リスト」を年度末に出版予定
- 統計情報などの定量データをさらに充実



Business Acceleration Program (BAP)

● 概要

- 社会課題ビジネスアイデアをスタートアップから募集、優秀なアイデアを表彰
- 各分野のMRI研究員・コンサルタントがメンタリング、ブラッシュアップを支援
- 過去6回開催：総応募約700件、INCFの多くのベンチャー会員がBAP卒業生

● 運用(2021年度予定)

- 6～7月募集期間、～9月審査、メンタリング期間を経て12月最終審査会開催

● 展開：本年度開催のポイント

- **「ニューノーマル」にフォーカス**：ポストコロナ社会を見据えた新しい社会課題解決ビジネスを募集、スタートアップとの共創で新しいマーケット創出を狙う
- **応募者のビジネスをより促進**：会員の皆様・MRI事業部門との連携を強化、プログラム後の応募者事業化・事業加速をこれまで以上に強化・推進
(会員の皆様にスタートアップ連携のアンケート調査を予定)

BAP2020最優秀賞企業のご紹介

- AC Biode株式会社

代表取締役CEO 久保 直嗣 氏

